

お話の学習指導案

教育目標

題名 ・ 星がすきな少年かがくしゃ、チャン・ヨンシル

年齢 ・ 児童(6~9歳)

主題 ・ 目標：ちょうせんのりっぱなかがくしゃのチャン・ヨンシルのお話をたのしくきく。
・ 主題：そうい（創意）

キーワード ・ チャン・ヨンシル、水時計、せいざ、ちょうせん、どりよく、かがく者、チャギョンヌ、時計、はつめいか

韓国文化 ・ 目標：韓国（かんこく）のさいしょの時計であるチャギョンヌについてきょうみをもつ。（チャギョンヌ：韓国の水時計）
・ 要素：チャギョンヌ

韓国語

- ・ 目標：お話をきいて、おたがいになにたことばのたのしさをかんじてみよう。
- ・ 単語：스스로（じぶんで）、저절로（おのずから）
- ・ 表現：
스스로 시간을 알려 주었어요.
（じぶんで時間をおしえてくれました。）
저절로 시간을 알려 주었어요.
（おのずから時間をおしえてくれました。）



口演 活動内容



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、こんにちは！
みなさん、こんにちは。わたしはみなさんにたのしいお話を‘○○○’、
うつくしいお話のおばあちゃんです。



題名 を教える

今日、おばあちゃんがするお話は、だいめい、さっさと出てこい！
"星がすきな少年かがくしゃ、チャン・ヨンシル"のお話です。
みなさん、今が何時かしりたいと、どうしますか？そうですね、時計を見たら
いいですね。時間はともだち、りょうしん、せんせいとのやくそくをまもるのに
かならずひつようなものですね。ある時計はきまった時間に音を出して、おし
えてくれたりします。そしたら時計を見なくても時間をはかることができますね。
とてもべんりですね。今日はちょうせんじだいに時計をつくったチャン・ヨン
シルについてお話をしようとおもいます。チャン・ヨンシルがどんな時計をつ
くったのか、おばあちゃんといっしょに見てみましょう。



お話の始まりの歌を歌う

"星がすきな少年かがくしゃ、チャン・ヨンシル"のお話の中へしゅっぱつ！
♪ いち にい さん し！ お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきい
てみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～

口演 活動内容



お話を聞かせる

むかしむかし、ちょうせんじだいにチャン・ヨンシルという人がいました。チャン・ヨンシルはみぶんも低く、いえがらもまずしかったのです。でも、せいかくはあかるく、やさしい子でした。こうきしんがおうせいで、手ぎわもよく、何でもすぐにうまくつくれました。とくにチャン・ヨンシルはよるの空にでる星を見ることがすきでした。

“セドル。今日のよる、わたしとうらの山に星を見に行かないか？”

チャン・ヨンシルは友だちのセドルをよびました。セドルはチャン・ヨンシルとてもたいせつな友だちでした。

“星を見たら、空からたべるものでもおちてくるのか？”

セドルはぶつくさ言いながら、チャン・ヨンシルについてうら山に上がって行きました。

“そこ、星をちょっと見てみろよ。おれがずっと見まもっていたのだけど、すこしずつうごいて、またもとのいちにもどるんだ。そしたらちょうど一ねんになるんだよ。どうだ、ふしぎだろう？”

“星がうごくだと？はあ、ふしぎだな。おれはまい日おなじとおもっていたよ。だけど、それがなんでじゅうようなんだ？”

セドルはチャン・ヨンシルにききました。

“星を見て、きせつがかわることをしれるのだ。はるがいつ来るのかわかったら、まえもってたねをまくじゅんびができるじゃないか。”

チャン・ヨンシルは空から目をそらさないで、セドルに話しました。

“あ、星を見れば、のうじをよくできるのか。”

セドルはようやく、くびをたてにふりました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

時間がすぎて、せいねんになったチャン・ヨンシルは星を見て、人びとにてんきと時間をしらせるしごとをしました。村の人びとはチャン・ヨンシルのおかげで、のうじがうまくできました。のうじがうまくいき、ほかの村よりもよくらす村になりました。そのしらせをきいた王さまはチャン・ヨンシルをよんで、きゅうていではたらかせました。

ある日、王さまはチャン・ヨンシルをよんで、言いました。

“ちかくの国に行き、あたらしいぎじゅつを学んで来なさい。いっしょうけんめいべんきょうしてかえって来て、ちょうせんにかならずひつようなものたちをつくってみなさい。”

王さまのたすけをかり、チャン・ヨンシルはちかくの国に行き、たくさんのかを学ぶことができました。

ちょうせんにかえって来たチャン・ヨンシルは時計をつくるかんがえにずっとはまってしまい、ひるもよるもなやんでいました。

“時計がせいかくに、時間をじぶんでしらせてくれたら、どんなにいいだろうか？”

そんなある日、あめがたくさんふりました。あめのふるようすをずっとながめていたチャン・ヨンシルは、ふと一つのかんがえがうかびました。

“そうだ、まさにそれだ！”

チャン・ヨンシルはひざを"ぽん"とたたきました。

チャン・ヨンシルはついにあたらしい時計をつくりあげました。まさに、水で時間をしらせるチャギヨンヌでした。じどうで時間をしらせてくれるので、チャ

口演 活動内容



お話を聞かせる

ギョンヌとよびます。チャン・ヨンシルはチャギョンヌを王さまに見せました。

“おお、チャギョンヌがどうやっておのずから時間をしらせてくれるのか、せつめいしてくれ!”

王さまはふしぎそうにして、たずねました。

“水をためた大きいつぼにあなをあけて、ほかのつぼに水をいっていにしておとすようにしたのです。ほかのつぼに水がたまると、てっきゅうをうごかすようにして、その力で人ぎょうがかね、たいこ、ジンをならして、時間をしらせてくれるようにしたのです。”

チャン・ヨンシルはじぶんがつくったチャギョンヌをさしながら、一つ一つ、せつめいしました。

“とてもすばらしいではないか!このチャギョンヌはたみたちにせいかくな時間をしらせてくれ、大きなたすけになることだ。おい、水時計をつくったチャン・ヨンシルに大きなかんしょくをあたえろ!”

王さまがよろこんで言いました。さいしょにしんかたちはチャン・ヨンシルのみぶんが低いとはんたいしました。しかし、チャン・ヨンシルに大きなかんしょくをあたえるという王さまのいし(意思)をむしすることができませんでした。

ついにチャン・ヨンシルは大きなかんしょくをうけとりました。むかしはみぶんがひくいとできないこともおおかったのですね。でも、チャン・ヨンシルはあきらめずにどりよくをして、さいごにちょうせんのさいこうのはつめいかになったそうです。

口演 活動内容



韓国文化, 韓国語を紹介する

みなさん、おばあちゃんがしたお話をよくききましたか？

チャン・ヨンシルはあたらしい時計をつくりました。どのような時計か話してみましようか？そうですね。じぶんで時間をしらせてくれる水時計でしたよね。"じぶんで" (ススロ) はじしんの力であることを言いますね。"じぶんで"とにたことばに"おのずから" (チョジョルロ) があります。みなさんもいえで、りょうしんとにたじょうきょうをひょうげんするさまざまなことばをさがしてみてください。

みなさん、チャン・ヨンシルがつくった時計のなまえをおもいだせますか？

そうですね。チャギヨンヌです。チャギヨンヌはじぶんでかね、たいこ、ジンをならして、時間をおしえてくれる水時計でした。チャン・ヨンシルはおおくの時計をつくりました。水時計に日をつけてうごくようにする"ぎょくろう"をつくりました。また、日時計である"アンブイルグ"もつくりましたね。そして、日、月、星のうごきを見ることができる"こんてんぎ"もつくりました。チャン・ヨンシルとかれがつくったものたちにきょうみがあるおともだちは、"どらんどらん お話ホームページ"でくわしいないようをしらべてみてね！

口演 活動内容



お話を整理する

みなさん、おばあちゃんと "星がすきな少年かがくしゃ、チャン・ヨンシル"をいちどまとめてみましょうか？

少年、チャン・ヨンシルはおそいよる、うら山に行くほど星がすきでした。星を見て、ゆめみていた時計をついにつくりましたね。チャン・ヨンシルはおちた雨を見て、チャギョンヌをつくったようにわたしたちも生かつにひつようなものたちをそうぞう(創造)力で作ることができます。しゅういをかんさつして、ふべんなてんをさがしてみましょう。そして、みなさんのあたらしくそうぞうてきなかんがえをじゅうにひょうげんしてみてください。みなさんもまた、1人のチャン・ヨンシルになれるですね。



お話のあとのうたをうたう

そしたら、お話のおわりのうたをいっしょにうたいながら、おばあちゃんとあいさつします。お話のおわりのうた、はじまり！

♪ いち にい さん し！お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんぴはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、ごあいさつ！

みなさん、つぎのうつくしいお話のおばあちゃんであいましょう。
さようなら！